

# 防火作文の部

## ☆ 最優秀賞

『火を防ぐために』

野塚小学校 六年 藤 井 ゆりあ

皆さんは、「火」の恐ろしさを知っていますか？火は、色々な事故・火災のもととなります。火遊び・ライター・ガス・スプレー缶・たばこ・マッチ・アイロン・私達の勉強で使うアルコールランプなど、火事のもとなるものはあります。テレビで、火事がおきている様子を見たり、新聞でも、火事の様子を見たことがあります。私は、その火事がおきている様子を見ると、

「火事の原因は何だろう。」

「どうしてこのようなことがおきるのだろうか。」などと色々な疑問がうかんできます。そこで私はどのようなにすれば悲しい事故や火災を防げるのかを考えてみました。

一つ目は、やはり一人一人が意識しないといけないと思います。外出する際は、ガスの元栓がきちんとしまっているか確認することや、火の近くに燃えやすい

物を置いていないかなど、日常生活から心がけていると火災が防げると思います。

二つ目は、呼びかけることです。今回の防火作品コンクールのように、ポスターや標語などで呼びかけると、皆の意識が変わると思います。

私達、野塚小学校の高学年は少年消防クラブというクラブに入っています。火の用心を呼びかけたり、消防署の方々に色々と教えていただける宿泊研修会を行っています。呼びかけをすると、一人一人の意識が変わると思うので呼びかけは大切だと思います。

三つ目は、もしもの場合を想定して訓練をするということです。簡単なことでもよいのですが、常にハンカチを持っておくと避難する時に口をふさげますし、消火器を置いておくなどでも、火災を防げると思います。

火はとても便利ですが、一歩間違えると一瞬にして私たちの大切なものを奪います。「ついうっかり」が火事の原因などにつながるので、皆さんも気をつけて下さい。

## ☆ 優秀賞

『身のまわりの火に気を付けて』

広尾小学校 六年 梅 田 夏 実

火事は色々な所にひそんでいます。例えば、台所や、コンセントのまわり。外も、危険です。

私は実際に火事を見たことはありません。だけど、テレビのニュースで家や、ゴミステーションが燃えているのは、何回も見た事があります。自分の家で火事が起こらないからといって、油断してはいけません。自分が気を付けていても、火事になることはあると、私は思います。

だから私は、日頃から十分注意して生活しなければなりません。テレビのニュースを見る度に思います。あとニュースで、自分より小さい子が命を落としているのを知ると、火事や火災は、本当に恐ろしいことが分かります。

私は、火事にならないように気を付けるのももちろん、よく火を使う所、火を使う時は、必ず大人の人を呼び、まわりに燃えやすい物はないかを必ず見て、十分気を付けて生活していきたいと思います。

## ☆ 優秀賞

『責任をもち火を使用する』

広尾小学校 六年 堂 場 華 菜

ニュースや新聞、色々なもので良く見る火災ですが、私は一度、実際に燃えた後の家を見た事があります。その家は燃えて灰になって骨組みがくずれていて、火災のおそろしさがとても伝わってきました。第一の火災の原因はストーブです。夏が近づくとストーブを使うことは少なくなります。しかしストーブを使わなくても火災の原因はまだあります。火災の第二の原因は、コンロです。コンロは調理で火を使う時、少し目を離すだけでも危険です。台所が電気調理器具の場合にも十分に警戒する必要があります。コンセントのまわりにほこりがたまればろう電をおこして火事になります。小さな電気ストーブでも、消し忘れや、そばに燃えやすいものがあればこれでも火災になります。他にも家庭内でタバコをすっている方はいないでしょうか。タバコのすいながらも簡単に火は火災は発生します。タバコのポイ捨てが原因で不審火がおこる事も多数あります。タバコをすう上で大切なのは後始末です。火を使うのですから責任を持つのは大切な事です。

このような事が原因で火災は起こります。火の消し

忘れ、こんな事で自分の大切な物が消えてしまうので  
す。しかし一人一人が注意して火を使い責任を持ち後  
始末をすれば火災の数は少なくなりませす。たくさん防  
火対策はありますが、一番大切なのは火のおそろしさ  
を考えた上での行動をとることだと思ひます。火は全  
てを灰にして全てをうばうからです。取り返しにつか  
ない事にならないように一人一人が責任を持ち火を  
使用する事でこの町、国から火事を消していきましょ  
う。

## ☆ 優 秀 賞

### 『火事への大きな一歩』

広尾小学校 六年 早坂 優 蘭

私は、実際に「火事」というものを見た事がない。  
しかし、広尾では去年、火事が起こりました。

「見に行こう。」私は言ったけれど家族は、

「あぶないからだめだ。」と言った。

どうしてだろうか、と考えてみた。

すると身近にあるものでも火事へつながることが分  
かった。

例えば、寒い時に使うストーブやカイロ、ライターや

マッチ。みんなで楽しむ「花火」だってそうだ。

当然、ライターやマッチは遊ぶ物ではないのでそれだ  
けで遊ぶと「火遊び」になる。

ストーブやカイロだって、使い方に気をつけないければ、  
発火や引火が起こり、火事への一歩となってしまう。

花火も楽しめる遊びの一つだけれど、遊ぶ物には必ず  
「遊び方」又はルールがある。

それを破ると、事故、けが、小さな火事にだってなる。

例え小さくたって火事は火事。だから何事も辺りを見  
て安全確認をしなければいけない。

これらの事が分かってから、自分も、

「近くに人はいないかな?」、「これで大丈夫かな?」  
と少しは考えてやるようになった。みなさんも少しで

も早く、火事を防いだり、使い方に注意してみてくだ  
さい。

# ☆ 佳作

## 『命と火事の関係』

広尾小学校 六年 日浦 朱羽

みなさんは考えたことがありますか？「命と火事の関係」を。

わたしは、好きな火ときらいな火があります。好きな火は花火です。きれいな火は火事です。

火事の起きる原因は、たくさんあります。例えば、ライターやストーブ、タバコの消しわすれなどが火事の原因となります。なのでわたしは、火事を防ぐにはどうすればよいか、火事で命を失うとみんなの気持ちはどうなるか、をのべようと思います。

まず最初に火事を防ぐには、どうすればよいかです。わたしは、火事を防ぐには次のようにしたらよいと思います。

一つ目は、タバコを吸っている人は、タバコの火を絶対に消してからでかけることです。

二つ目は、火遊びをしないことです。

三つ目は、料理をしていてガスを使っている時は目をはなさないことです。

次は、火事で命を失うとみんなの気持ちはどうなるかです。

わたしは、火事で命を失うとすごく悲しいと思います。わたしは今までニュースを見て、放火事件などで、何人も人が亡くなっているのを知っています。わたしは放火事件などで人が亡くなったという話をきくとすごく悲しくなつたので、自分も火事で命を失うと悲しくなると思いました。

わたしは、この作文を書いて、火事は自分が思っているよりも、すごくこわいものだ、ということが、今までよりもわかるようになりました。なのでわたしが火を使うときには、この作文を参考にし、気をつけようと思いました。

# ☆ 佳作

## 『危険な火事を防ぐ』

広尾小学校 六年 嶋 木 梨 乃

みなさんは、火事のこわさを知っていますか。

私は、身近な所では、火事なんかおこらないと思っていました。

しかし、ほんのちよつとの油断や不注意から私達の近くでも火事はおこるかもしれないのです。

火事が、おこる原因を4つしようかいたします。1つ目

は、料理をしているときなどにおきる場合です。

例えば、火を使ってあげ物などをしているときです。ちよつとした油断で目をはなしてしまつと、火事につながります。

2つ目は、タバコに火をつけたまま、ほうちする場合です。タバコの近くに、燃えやすいものがおいてあると、燃えうつつて火事に、つながります。

3つ目は、火遊びの場合です。

例えば、小さい子の目のとどくところに置いてあつて、ライターの火をつけて遊んでいる時に、近くに燃えやすいものがあると、火事につながります。

4つ目は、ストーブの消しわすれや近くに、燃えやすい物があると、火事につながります。どの場合も、近くに燃えやすいものがあると、火事になります。

私は、こんな体験をしました。

先生が、「今日、学校の帰り道で火事がおきたから、集団下校で帰ります。」と言いました。私は、どこで火事がおきたんだらうと思つていました。家に帰ると、うちの近所に、たくさんの、パトカーや救急車、消防車が来ていました。とてもびつくりしました。

もしかして、うちの近所で火事がおきたのかなあーと思つたら、本当にうちの近所の知つているおじさんだったのでびつくりしました。うちの近所で火事がおきたので、それから、火を使う時はとても気をつけるようになりました。

例えば、出かけるときなどには、火がつきつぱなしになつていないかを見直しするようになりました。

火事は一人一人が注意して気をつければ、防げることです。身の回りの、身近なことから気をつけて防いでいきたいです。

## ★ 佳作

### 『火事の恐怖』

広尾小学校 六年 小堀 なぎさ

私は、火事を目の前で見たことがあります。家ではストーブの前には燃えやすいものは近くに置かないし、料理で火を使つても終わつたらすぐに火を消してそれなりに火事がおこらないような工夫はしています。私は、他の家も火事にならないような工夫をしているだらうとずつと思ひこんでいました。ある日とつぜんニュースで火事が起こつていたので見ました。原因は、ストーブの近くに燃えやすいものを置いていたからだつたそうです。そして私より幼い命もうばわれてしまつたと、ニュースは伝えていました。そのニュースを一緒に見ていた母は「かわいそうにね…まだ幼いのに。」と静かに言いました。私も「かわいそう

だね。」と言いました。なぜなら2〜3年しか生きていないのにそこで人生が終わるのだから。私も何年しか生きていないのに、そこで人生が終わるのはいやだと思いました。あのニュースを見てから火はとてもこわいものだと思わなければならぬ。だから私は、もつと家で火事にならないような工夫をしようと思いました。

## ☆ 佳作

### 『火事から命を守るために』

広尾小学校 六年 柳沢 七海

最近、ニュースで消し忘れなどによる事故が増えています。火事から命を守るためには、ふだんから身の回りのことを気をつけなければなりません。

まず家の中で気をつけなければいけないことは、調理中です。火事になる理由は、コンロなどの火の消し忘れなどです。調理中に、火事を防ぐためには、コンロの近くに布などを置かないことと、火から目を離さないときに火を消すことと、調理が終わったら一回確認し、ガスの元栓をしめたらいいと思います。

また、家の中で気をつけなければいけないことは、

ストーブです。ストーブによる火事になる理由は、消し忘れです。家から出るときにストーブを消し忘れていると、火事になる可能性がとても高くなります。なので、家から出るときは、確認してから家を出しましょう。

また、家の中では、ライターやマッチなどの取りあつかいには注意してください。遊び半分でライターなどにさわらないでください。

人々にとって、火は、かかせないとても大切なものだけど、その反面、火によって人の命さえも奪ってしまうことがあります。なので、普段から身の回りのことに気をつけながら、生活をしたほうがいいと思います。

## ☆ 佳作

### 『北海道の火災』

広尾小学校 六年 鈴木 志乃

身近な火災は、油断していると、すぐに起こります。北海道は冬になると雪がふるので多くの道民が、ストーブを使い火をたきます。ですから多くの道民がストーブを使うのでストーブによる火災が多くなります。

す。ストーブによる火災により毎年多くの人が亡くなったり、けがをしたりするので私達も安心しては、いられません。

道民にとってストーブはなくてはならないものです。なので私は火災を防ぐ二つの方法を考えました。一つ目の防火方法は、ストーブの周りに、燃えそうな物を置かないことです。単純なことですが、これ一つでも命とりになりかねません。ストーブは火をたくと熱くなります。その周りに燃えそうな物を置くとストーブの熱で火がついて引火して家が燃えてしまうかもしれません。なので常に防火を頭に入れておけばよいと思います。

二つ目の防火方法は、ストーブのスイッチを長時間入れっぱなしにしないことです。これはコンロなどでもそうですが、スイッチをつけたままでいるとすぐく熱くなって空気中のちりなどに引火して火災が起こってしまうかもしれないし、子供やペットがまちがって熱いストーブをさわってしまったらやけどをしてしまうかもしれないからです。なので子供やペットがいる家は特に気をつけたらよいと思います。

このように、私たちの周りでも、ちよつとの油断で火災は起こりうるのです。ですからきちんと火災を防いで健康な生活を送りたいです。

## ☆ 佳作

### 『火災を防ぐために』

広尾小学校 六年 白 井 きらら

私は、生で火災現場を見たことはありませんが、火事は怖いと思います。理由は、焼死してしまうかもしれないからです。

私は、どうしたら火災を防げるか考えました。まず1つ目は火を使っている時は、火から目をはなさないことです。あたりまえですが、料理をしているときとかに長時間の調理になるとつい目をはなしてしまう事があり、近くにある物に燃え移ってしまうかもしれないので火から目をはなさないことです。

2つ目は火を使った後は必ず消すということです。もし寝タバコなどをしてしまうと自分の衣類や近くにある物に燃え移るかもしれないので火を使った後は必ず消すことです。火災の防ぎ方は他にもありますが、特に火を使っている時に目をはなさないことと、火を使った後にちゃんと火を消すことが火災を防ぐことにつながると思います。

火事を防ぐのに一番大切なのは、「私の家も火事が起こる可能性がある。」ということをお忘れずに生活することだと思えます。